

会合

ADB 主催の Hub 間ワークショップ及び ACEF に参加しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、2018年6月、アジア開発銀行(ADB: Asian Development Bank)主催で開催された、SEforALLのHub間ワークショップ及びACEF(Asian Clean Energy Forum)に参加しました(場所: マニラ)。前者では、当方より建築物省エネ化の推進を目指したASEAN向けの対応について報告しました。後者では、出席者との広範な情報交換に加え、ADBのSEforALL担当部門と、今後のアジアにおけるSEforALL活動に関し、具体的な打合せを行いました。



C2E2のKsenia女史のプレゼン



ECCJの田中のプレゼン

- (1) 2018年6月5日に開催されたHub間ワークショップは、各分野の省エネ推進組織 (Energy Efficiency Accelerator Platform) の活性化をどう図っていくかがテーマでした。ECCJは、そのビルディング部門の関心に合わせ、建築物省エネ基準に関する日本及びASEANでの取組み状況と直近の活動目標であるZEBの導入について報告を行いました。今後の方向性としては、ウェビナー等による関係者間の密接な情報交換と、MDB (国際開発銀行、世銀・ADB・IDB等々) との連携を推進していくこととなりました。
- (2) 6月6～8日に開催されたACEFの目的は、ADBがSEforALLのAsia Pacific Regional Hubとして、SEforALL関係者との情報共有・意見交換を通じ、域内の産官学関係者等と共同で、SEforALL関連目標達成を支援していくことでした。ECCJは、同フォーラム参加者との広範な連携に加え、ADBの上記部門からの要望に合わせ、今後ともパートナー的な業務推進を行うことで相互の確認を得ることが出来ました。

※SEforALL(Sustainable Energy for All) : 万人のための持続可能なエネルギー

2011年9月に国連事務総長が「エネルギーは全ての国の経済開発の根幹にある」として提起したイニシアティブとして開始された(現在はNGO)。目標として、「①近代的エネルギーへの普遍的アクセス達成」、「②世界全体でのエネルギー効率の改善ペースの倍増」、「③世界全体での再生可能エネルギーのシェア倍増」を掲げている。